

### 介護職目指し 外国人が研修

徳島市で初任者講座

介護職を目指す県内在住外国人向けの初任者研修講座が4日、徳島市昭和町3のわくびあ徳島で始まった。県の定住外国人の就労・社会参加事業の委託を受け、県労働者福祉協議会が初めて開いた。来年1月まで45回開講し、修了試験に合格すると介護職に就くことができる。

中国、フィリピン、ブラジル出身の15人が

介護の仕事について理解を深める受講者  
徳島市昭和町3のわくびあ徳島



参加。初日はデイサー  
ビスやショートステイ

を行う施設で働く介護福祉士が講師を務め、介護保険の仕組みや施設の形態を学んだ。

講師は、ケアマネジャーが作った計画書に従って入浴や食事の準備、介助などを行う介護職員の仕事について説明。「お年寄りとのコミュニケーションを大切に、活躍してほしい」などと助言した。

フィリピン出身の居

敷アイミーさん(29)「海陽町中山」は「漢字が難しいけれど、みんなと一緒に勉強すると理解しやすい。修了まで頑張りたい」と話した。  
(橋本真味)